

《二〇二〇年度第一回試験 国語》解答例

一 問一 ① かごん ② おくがい ③ 警告 ④ 器官 (2点×4)

問二 1 イ 2 オ 3 ア 4 エ (2点×4)

問三 「どのように自分の思いを伝えるか」を身につけたということ。(5点)

問四 幼い頃から、大きな声でみんなとそろえて声を出すようにしつけられるため、失敗しないように、他の人と同じにしようとして、自分の声を抑圧するから。(8点)

問五 ・普段自分が聴いている骨導音ではないから。

・心身の恒常性に適った、本物の声ではないから。(3点×2)

問六 身体の機能に反するだけでなく、心理面でも人間は無理をします。(5点)

問七 自分を少しでもよく見せようとして無意識に声を作る(こと) (5点)

問八 オ (5点)

二 問一 ① 永住 ② わけ ③ 編(み) (2点×3)

問二 i イ ii エ iii ア (3点×3)

問三 上京して就職したい (5点)

問四 ① カ ② イ (完答4点)

問五 母は突然泣き出し、父は話を遮って無かったことのように新聞を読み始めた。(7点)

問六 エ (5点)

問七 周りを高い山で囲まれた地形。(5点)

問八 美しい京都を故郷として深く愛しているが、自分を縛りつけて離さない力も感じ、一度は離れるべき場所だと思っている。(9点)